

第4章 国際会議

1. 世界における国際会議開催状況

国際会議に関しては、UIA(国際団体連合: Union of International Associations)が、世界中で開かれた国際会議の開催件数の統計をまとめており、この UIA 統計に基づいて日本政府観光局(JNTO)が「国際会議統計」を作成している。

なお、「国際会議統計」による UIA 統計における「国際会議」の基本的な定義は次のとおり。

1. 国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議
2. 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議で
 - ①参加者数 300名以上 ※うち40%以上が主催国以外の参加者
 - ②参加国数 開催国を含む5カ国以上
 - ③開催期間 3日以上

(1) 地域別国際会議開催件数の推移

世界における国際会議の開催件数について過去5年間の推移を地域別に見ると、順位は変わらず第1位ヨーロッパ、第2位アジア、第3位南北アメリカ、第4位オセアニア、第5位アフリカの順となっている。

また、地域別国際会議開催件数構成比の推移を見ると、近年アジアでの開催比率が年々高まっている。

○ 図表4-1-① 地域別国際会議開催件数の推移

(単位: 件)

地域	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
アフリカ	649	579	369	350	271
南北アメリカ	2,340	1,862	1,719	1,330	1,299
アジア	2,816	2,594	3,046	3,029	3,140
オセアニア	384	274	412	395	342
ヨーロッパ	7,117	6,194	5,973	5,154	4,948
合計	13,306	11,503	11,519	10,258	10,000

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)各年の数値は、以下の条件に基づいている

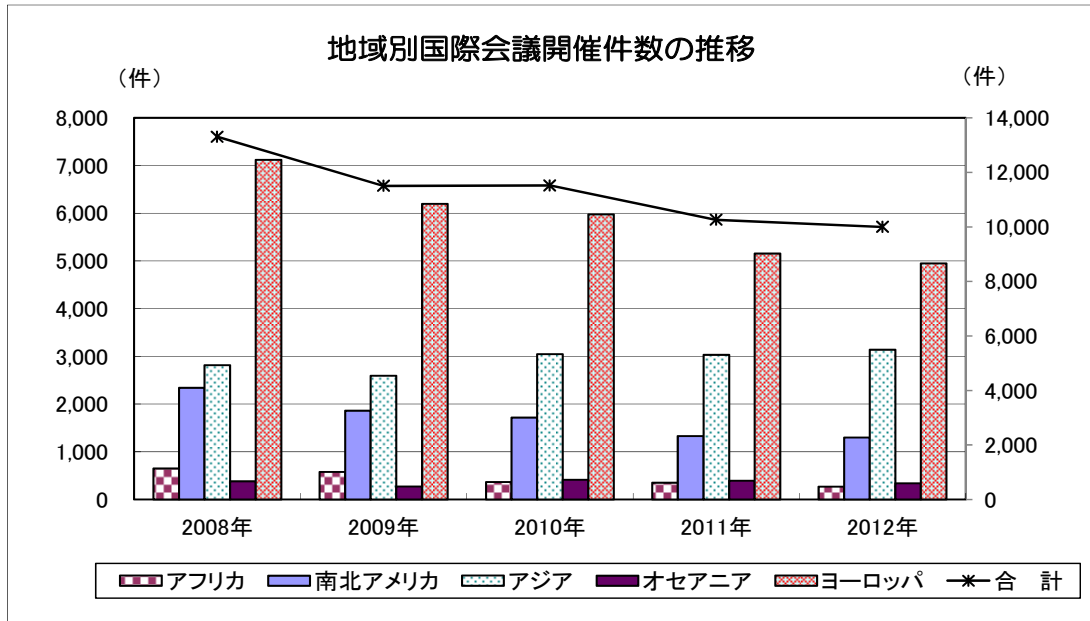
2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

(注)「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている

但し、トルコ、キプロス、グルジア、アルメニア、アゼルバイジャンは「ヨーロッパ」の領域に含まれている

○ 図表4-1-② 地域別国際会議開催件数の推移



※棒グラフは左軸、折れ線グラフは右軸

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)各年の数値は、以下の条件に基づいている

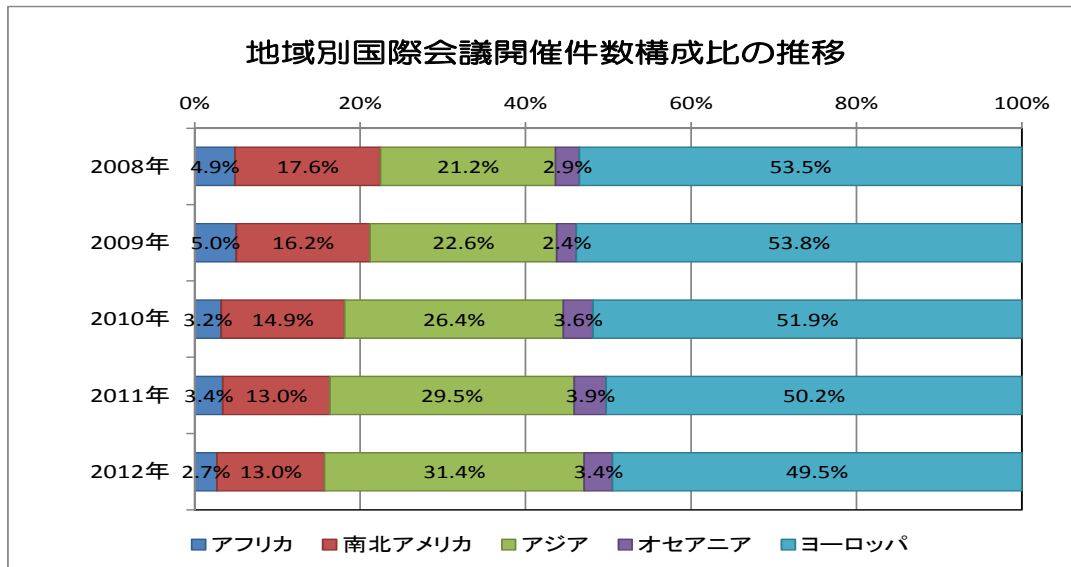
2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

(注)「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている

但し、トルコ、キプロス、グルジア、アルメニア、アゼルバイジャンは「ヨーロッパ」の領域に含まれている

○ 図表4-1-③ 地域別国際会議開催件数構成比の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)各年の数値は、以下の条件に基づいている

2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

(注)「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている

但し、トルコ、キプロス、グルジア、アルメニア、アゼルバイジャンは「ヨーロッパ」の領域に含まれている

(2) 国別国際会議開催状況

① 国別国際会議の開催状況

2012年における国際会議開催件数を国別で見ると、第1位シンガポール(952件)、第2位日本(731件)、第3位アメリカ(658件)、第4位ベルギー(597件)、第5位韓国(563件)の順となった。

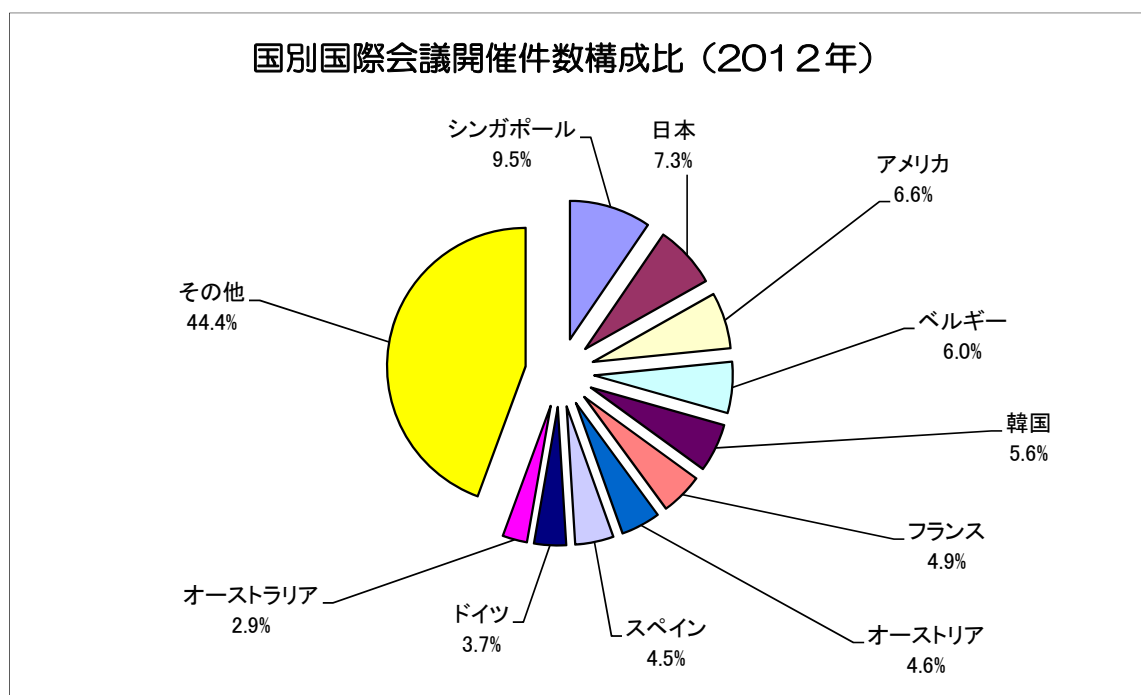
○ 図表4-2-① 国別国際会議開催件数(2012年)

(単位:件)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
国名	シンガポール	日本	アメリカ	ベルギー	韓国	フランス	オーストリア	スペイン	ドイツ	オーストラリア	その他	総数
件数	952	731	658	597	563	494	458	449	373	287	4,438	10,000
構成比	9.5%	7.3%	6.6%	6.0%	5.6%	4.9%	4.6%	4.5%	3.7%	2.9%	44.4%	100.0%

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成
 (注) 数値は「2012年UIA国際会議統計」による「暫定値」に基づいている

○ 図表4-2-② 国別国際会議開催件数構成比(2012年)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成
 (注) 数値は「2012年UIA国際会議統計」による「暫定値」に基づいている

② 国別国際会議の開催件数の推移

2012年における国別国際会議開催件数の多かった上位10ヶ国の過去5年間の開催状況を見ると、前年からシンガポールが第1位となり、2012年においても第2以下と220件以上の差をつけて第1位となっている。

また、日本については前年の第3位から第2位へと順位を上げた。

○ 図表4-3-① 国別国際会議開催件数の推移(2012年 第1位～第10位)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	20位	
開催国	シンガポール	日本	アメリカ	ベルギー	韓国	フランス	オーストリア	スペイン	ドイツ	オーストラリア	中国	総数
2008年	660(3位)	606(4位)	1,259(1位)	460	345	944	349	549	561	319	276	13,306
2009年	689(2位)	538(5位)	1,085(1位)	470	347	632	421	365	555	227	225	11,503
2010年	725(3位)	741(2位)	936(1位)	597	464	686	362	572	499	356	298	11,519
2011年	919(1位)	598(3位)	744(2位)	533	469	557	390	386	421	329	250	10,258
2012年	952(1位)	731(2位)	658(3位)	597	563	494	458	449	373	287	155	10,000

(単位:件)

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

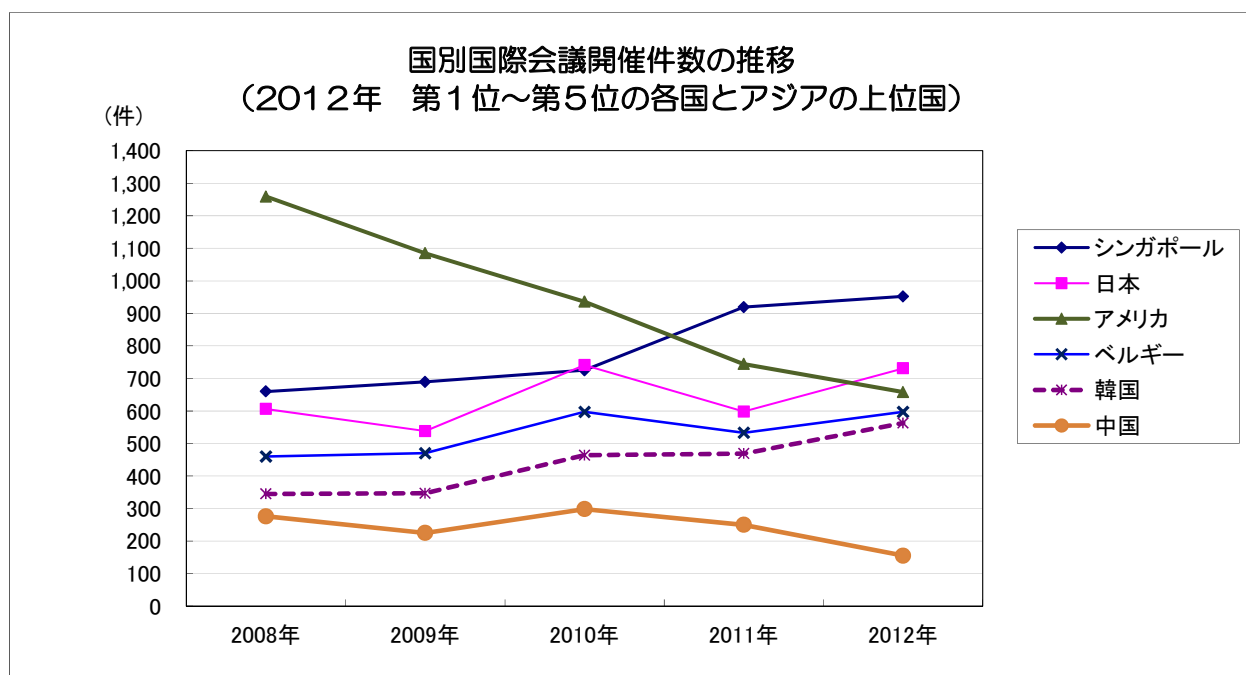
(注) 各年の数値は、以下の条件に基づいている

2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

○ 図表4-3-② 国別国際会議開催件数の推移

(2012年 第1位～第5位の各国とアジアの上位国)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012国際会議統計」より作成

(注) 各年の数値は、以下の条件に基づいている

2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

(3) 都市別国際会議開催状況

2012年における都市別国際会議開催件数が多かった上位10都市の過去5年間の開催状況を見ると、2012年は、第1位シンガポール(952件)、第2位ブリュッセル(547件)、第3位ウィーン(326件)となっている。

アジアでは、第1位のシンガポールのほか、ソウルが第5位、東京(23区)が前年の第7位から順位を上げて第6位となっている。

○ 図表4-4-① 都市別国際会議開催件数の推移 (2012年 第1位～第10位)

(単位:件)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	7位	9位	10位
開催都市	シンガポール	ブリュッセル	ウィーン	パリ	ソウル	東京(23区)	バルセロナ	コペンハーゲン	マドリッド	ロンドン
2008年	660	363	270	484	153	162(6位)	206	127	101	144
2009年	689	395	311	316	151	134(11位)	148	127	61	125
2010年	725	486	257	394	201	190(7位)	193	102	175	164
2011年	919	464	286	336	232	153(7位)	150	105	116	105
2012年	952	547	326	276	253	225(6位)	150	150	149	119

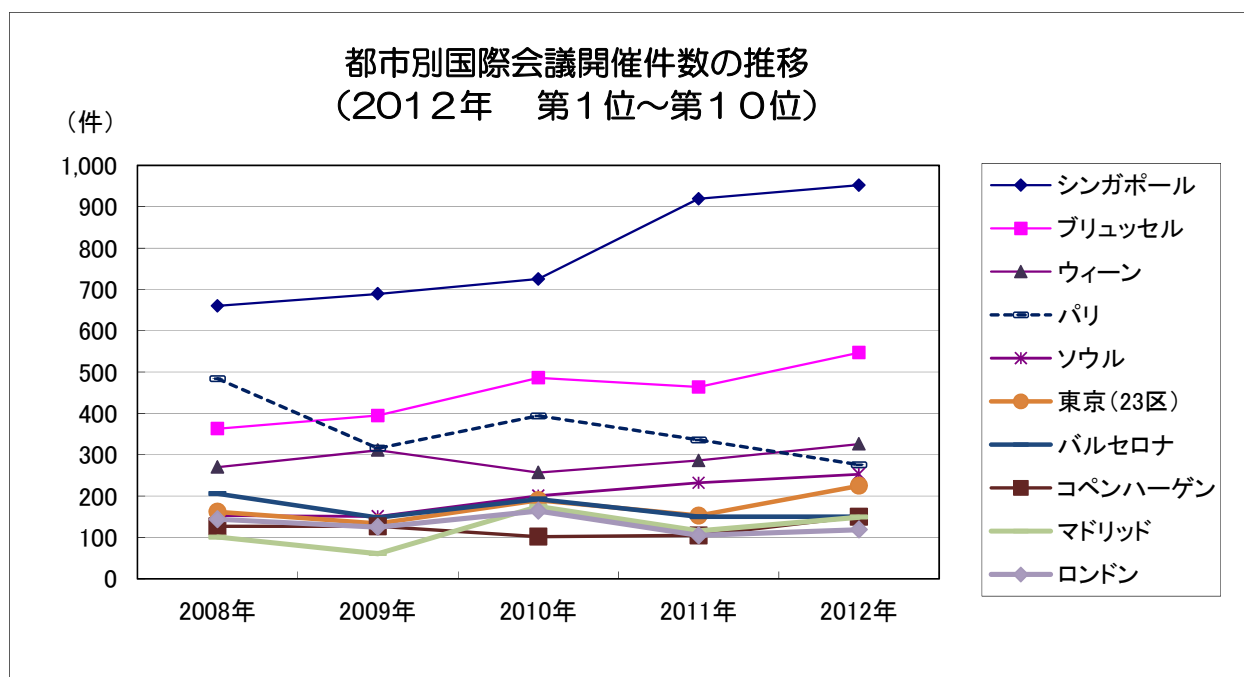
出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)各年の数値は、以下の条件に基づいている

2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

○ 図表4-4-② 都市別国際会議開催件数の推移(2012年 第1位～第10位)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)各年の数値は、以下の条件に基づいている

2008年 「2012年UIA国際会議統計」による「最終的な暫定値」

2009年～2012年 「各年UIA国際会議統計」による「暫定値」

2. 我が国における国際会議開催状況

我が国で開催される国際会議は、日本政府観光局(JNTO)が「国際会議統計」として取りまとめている。「国際会議統計」では、日本で開催される「国際会議」の定義がUIA統計とは異なっており、両者の件数は一致しないが、国内の細かな動きを把握することができる統計である。以下、この「国際会議統計」に基づいて、我が国における国際会議の開催状況を見る。

なお、「国際会議統計」における日本で開催される「国際会議」の定義は次のとおり。

(※2007年から定義が新基準となっている。)

国際機関・国際団体(各国支部を含む)または国家機関・国内団体する会議で

○参加者総数が50名以上

○参加国が日本を含む3カ国以上

○開催期間が1日以上

※企業内会議、大学など研究機関が行う講義、投資セミナー、観光セミナー、学習を目的とする研修会などは対象外

(参考)2006年統計までの旧基準

下記2つの条件のいずれかを満たしているセミナー、シンポジウム等

○参加者総数が20名以上で、かつ参加国が日本を含む2ヶ国以上の国際会議

○参加者総数が20名以上で、かつ外国人参加者数が10名以上の国内会議

(1) 我が国における国際会議開催件数と外国人参加者数の推移

過去10年間における我が国で開催された国際会議の開催件数を見ると、2012年は最も多く、前年比445件増(約23.5%増)の2,337件であった。また、外国人参加者数も対前年比65,121人増(約70.9%増)の156,914人で、過去10年間で最多となった。2012年の訪日外客数約836万人(*)のうち、国際会議の参加者は、約1.9%を占めている。

(*)第6章<図表6-4-①>参照

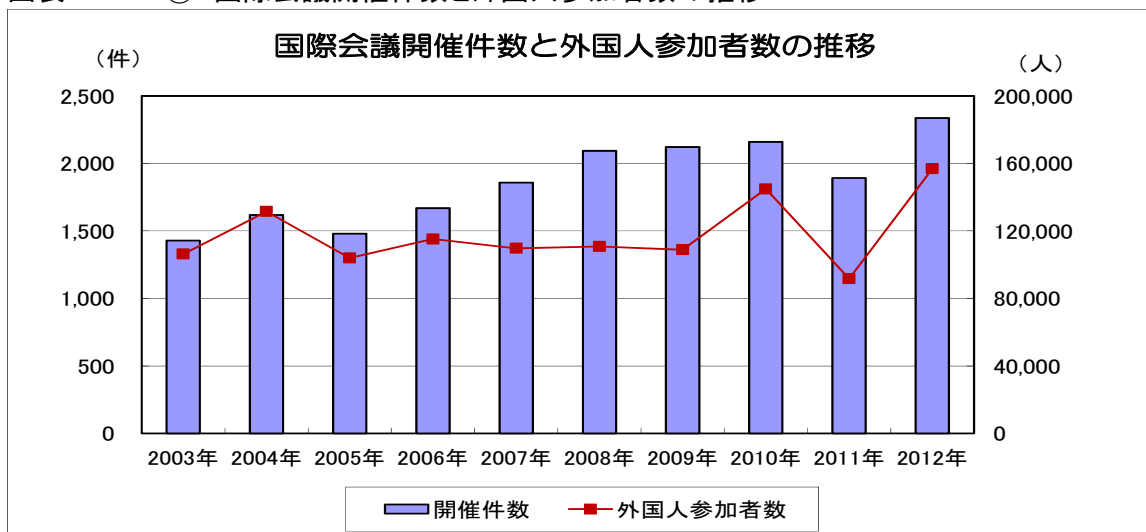
○ 図表4-5-① 国際会議開催件数と外国人参加者数の推移

(単位: 件、人)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
開催件数	1,430	1,618	1,480	1,670	1,858	2,094	2,122	2,159	1,892	2,337
外国人参加者数	106,308	131,534	104,035	115,254	109,720	110,852	108,929	144,968	91,793	156,914

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

図表4-5-② 国際会議開催件数と外国人参加者数の推移



※棒グラフは左軸、折れ線グラフは右軸
出所：日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(2) 我が国における都市別国際会議開催状況

① 我が国における都市別国際会議開催状況

2012年に我が国で開催された国際会議開催件数を都市別に見ると、第1位の東京(23区)が500件(全体の約21.2%)と第2位以下に大きな差をつけている。

また、関西では、第3位に京都市(196件)、第5位に大阪市(140件)、第7位に千里地区(113件)、第8位に神戸市(92件)、第15位に奈良市(30件)と、上位15位までに5都市が入っている。

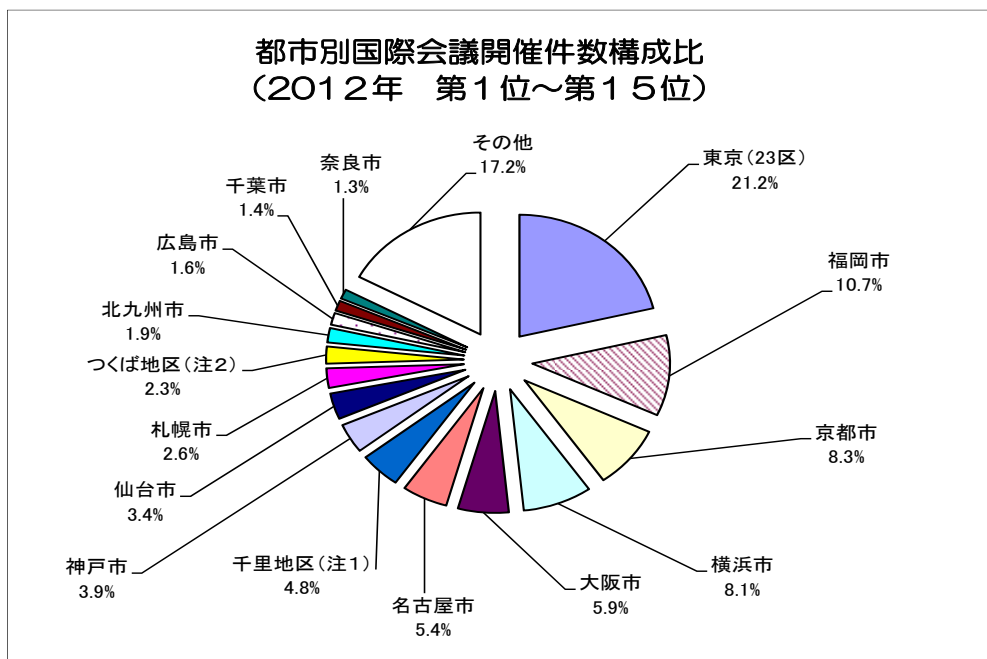
○ 図表4-6-① 都市別国際会議開催件数(2012年 第1位～第15位)

(単位：件)

順位	都市名	開催件数	構成比
1	東京(23区)	500	21.2%
2	福岡市	252	10.7%
3	京都市	196	8.3%
4	横浜市	191	8.1%
5	大阪市	140	5.9%
6	名古屋市	126	5.4%
7	千里地区(注1)	113	4.8%
8	神戸市	92	3.9%
9	仙台市	81	3.4%
10	札幌市	61	2.6%
11	つくば地区(注2)	53	2.3%
12	北九州市	45	1.9%
13	広島市	37	1.6%
14	千葉市	32	1.4%
15	奈良市	30	1.3%
	その他	404	17.2%
	合計	2,353	100.0%

出所：日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成
 (注1)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む
 (注2)「つくば地区」は、茨城県のつくば市、土浦市を含む
 (注)一つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、各都市で1件ずつ計上しているため、図表4-6の開催件数の合計件数は、図表4-5の開催件数よりも多くなっている

図表4-6-② 都市別国際会議開催件数構成比(2012年 第1位～第15位)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成
 (注1)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む
 (注2)「つくば地区」は、茨城県のつくば市、土浦市を含む

② 我が国における都市別国際会議開催件数の推移

我が国における国際会議開催件数の推移を都市別に見ると、東京(23区)が他の都市を大きく引き離す状況が続いている。

2012年の第1位～第5位と第10位までの関西の都市においては、全ての都市が前年の件数を上回っており、特に、第3位京都市が対前年比59件増(196件)、第5位大阪市が対前年比68件増(140件)、第7位千里地区が対前年比59件増(113件)と前年を大きく上回っている。

○ 図表4-7-① 都市別国際会議開催件数の推移

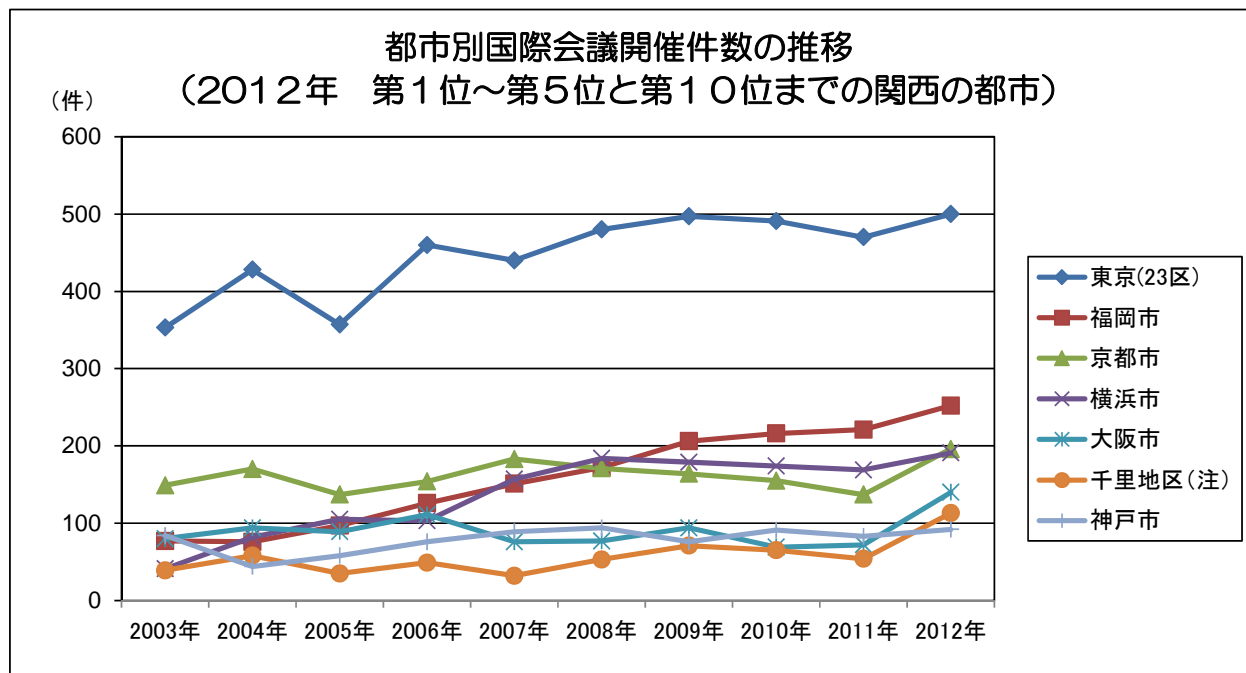
(2012年 第1位～第5位と第10位までの関西の都市)

		(単位: 件)									
順位	都市名	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1	東京(23区)	353	428	357	460	440	480	497	491	470	500
2	福岡市	77	76	97	126	151	172	206	216	221	252
3	京都市	149	170	137	154	183	171	164	155	137	196
4	横浜市	41	82	105	103	157	184	179	174	169	191
5	大阪市	80	94	89	111	76	77	94	69	72	140
7	千里地区(注)	39	58	35	49	32	53	71	65	54	113
8	神戸市	84	44	58	76	89	94	76	91	83	92

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成
 (注)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

図表4-7-② 都市別国際会議開催件数の推移

(2012年 第1位～第5位と第10位までの関西の都市)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

(3) 我が国における規模別国際会議開催状況

2012年に我が国で開催された国際会議を規模別に見ると、参加者総数300人未満の規模の会議が全体の約65.9%を占めており、比較的小規模な会議が頻繁に開催されていることがわかる。

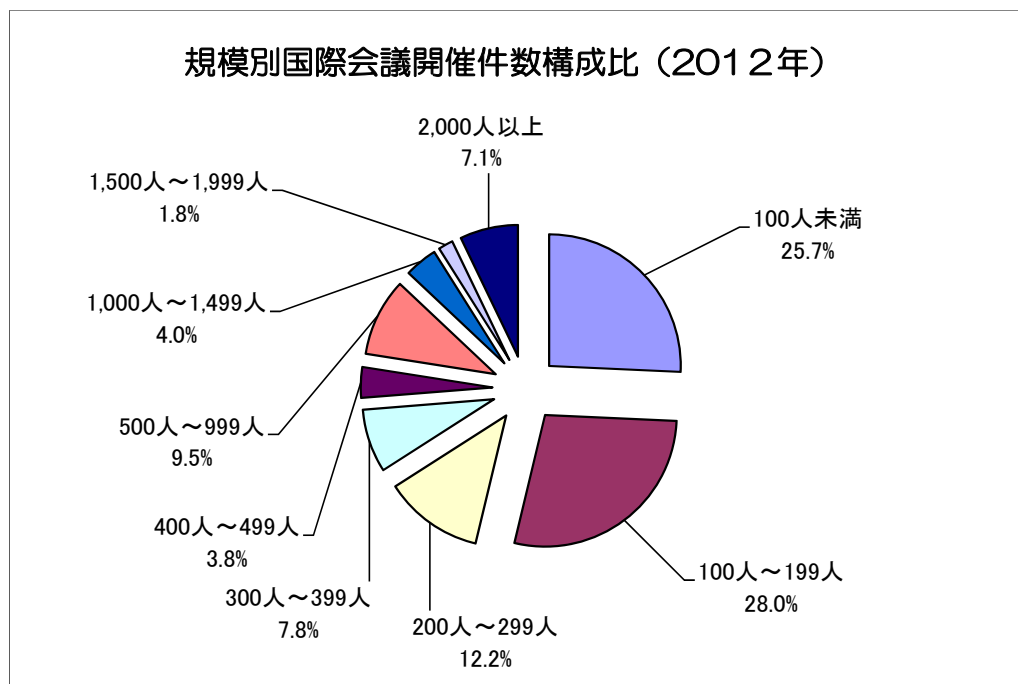
○ 図表4-8-① 規模別国際会議開催件数(2012年)

(単位:件)

参加者総数	件数	構成比
100人未満	601	25.7%
100人～199人	655	28.0%
200人～299人	285	12.2%
300人～399人	182	7.8%
400人～499人	88	3.8%
500人～999人	223	9.5%
1,000人～1,499人	94	4.0%
1,500人～1,999人	42	1.8%
2,000人以上	167	7.1%
合計	2,337	100.0%

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

○ 図表4-8-② 規模別国際会議開催件数構成比(2012年)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(4) 我が国における分野別国際会議開催状況

2012年に我が国で開催された国際会議を分野別に見ると、開催件数の最も多い分野は「科学・技術・自然」(1,015件)、次いで「医学」(495件)、「政治・経済・法律」(245件)、「芸術・文化・教育」(220件)の順となっている。

また、外国人参加者数を分野別に見ても、「科学・技術・自然」分野が62,176人と最も多く、次いで「医学」(30,038人)、「産業」(20,333人)の順となっている。

○ 図表4-9-① 分野別国際会議開催件数と外国人参加者数(2012年)

(単位:人)

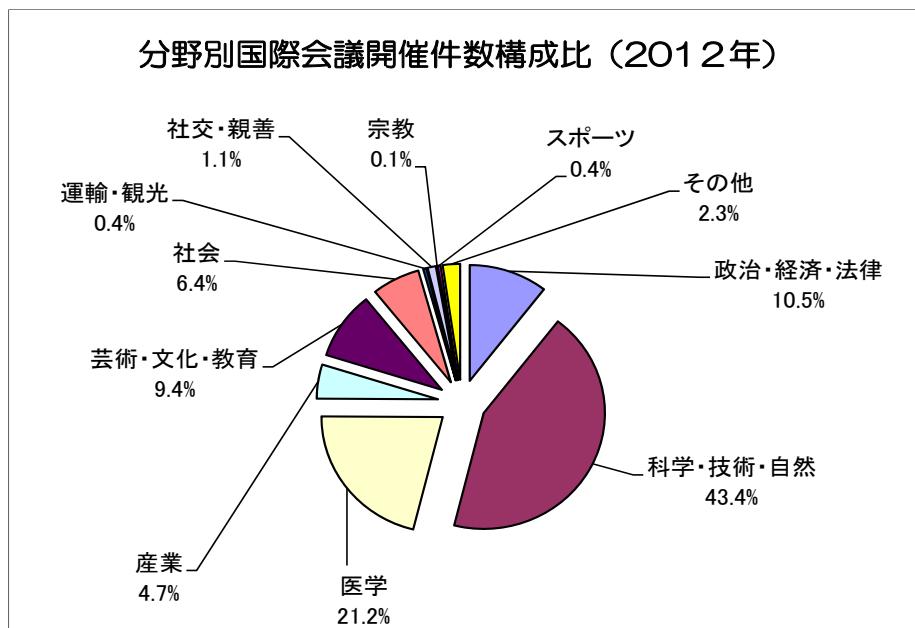
分野	件数	構成比	外国人参加者数 (注)	構成比	1件あたり平均 外国人参加者数
政治・経済・法律	245	10.5%	20,242	12.9%	82.6
科学・技術・自然	1,015	43.4%	62,176	39.6%	61.3
医学	495	21.2%	30,038	19.1%	60.7
産業	111	4.7%	20,333	13.0%	183.2
芸術・文化・教育	220	9.4%	7,259	4.6%	33.0
社会	150	6.4%	9,923	6.3%	66.2
運輸・観光	10	0.4%	1,163	0.7%	116.3
社交・親善	26	1.1%	1,296	0.8%	49.8
宗教	2	0.1%	828	0.5%	414.0
スポーツ	9	0.4%	1,672	1.1%	185.8
その他	54	2.3%	1,984	1.3%	36.7
計	2,337	100.0%	156,914	100.0%	67.1

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注) 外国人参加者数は、以下に該当する会議への参加者数は計上していない

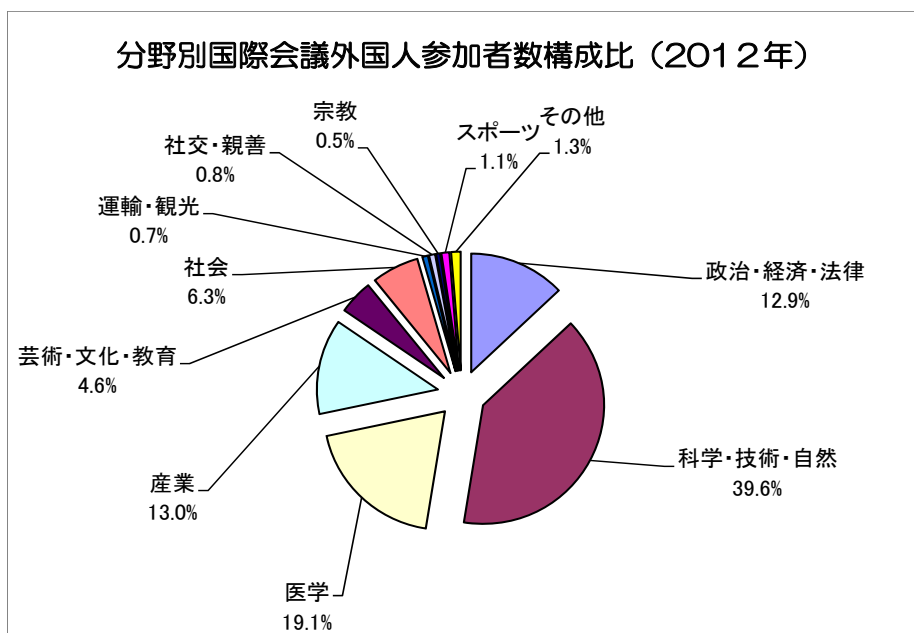
「会議以外の要素が多く含まれており、かつ会議部分のみの参加者数が不明である国際会議」

○ 図表4-9-② 分野別国際会議開催件数構成比(2012年)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

○ 図表4-9-③ 分野別国際会議外国人参加者数構成比(2012年)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

3. 関西における国際会議開催状況

(1) 関西の府県別国際会議開催件数の推移

2012年における関西での国際会議開催件数は、前年より236件増の649件、全国シェアが5.9ポイント増の27.6%となった。首都圏での開催件数も前年より72件増の829件であったが、全国シェアは4.6ポイント減の35.2%となっており、全国的に見ても関西での開催件数の増加が目立った。

○ 図表4-10 国際会議開催件数の推移(関西・首都圏・全国)

	大阪府		京都府		兵庫県		福井県	滋賀県	奈良県	和歌山県	関西	首都圏	全国	関西の 全国比	首都圏の 全国比
	大阪市		京都市		神戸市										
2003年	125	80	159	149	123	84	5	9	26	1	448	565	1,450	30.9%	39.0%
2004年	160	94	181	170	86	44	4	2	18	0	451	675	1,628	27.7%	41.5%
2005年	135	89	141	137	93	58	3	1	27	0	400	589	1,491	26.8%	39.5%
2006年	182	111	156	154	100	76	1	1	19	0	459	692	1,675	27.4%	41.3%
2007年	124	76	187	183	124	89	3	1	26	1	466	777	1,868	24.9%	41.6%
2008年	144	77	180	171	123	94	6	8	31	2	494	873	2,108	23.4%	41.4%
2009年	183	94	169	164	102	76	1	4	20	1	480	890	2,149	22.3%	41.4%
2010年	152	69	160	(*)155	121	91	2	8	36	1	480	878	2,169	22.1%	40.5%
2011年	135	72	145	(*)137	105	83	1	3	24	0	413	757	1,903	21.7%	39.8%
2012年	281	140	202	196	112	92	8	6	37	3	649	829	2,353	27.6%	35.2%

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注) 首都圏: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

(注) 一つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、各都市で1件ずつ計上している

(注) (*)は同一府県内の複数都市で開催された国際会議を含んで計上している

(2) 関西の府県別国際会議開催状況

① 関西の府県別国際会議開催状況

2012年に関西で開催された国際会議開催件数を府県別に見ると、大阪府が281件(43.3%)、京都府が202件(31.1%)、兵庫県が112件(17.3%)となっており、これらの3府県で関西全体の約91.7%を占める。

○ 図表4-11-① 関西の府県別国際会議開催件数(2012年)

(単位:件)

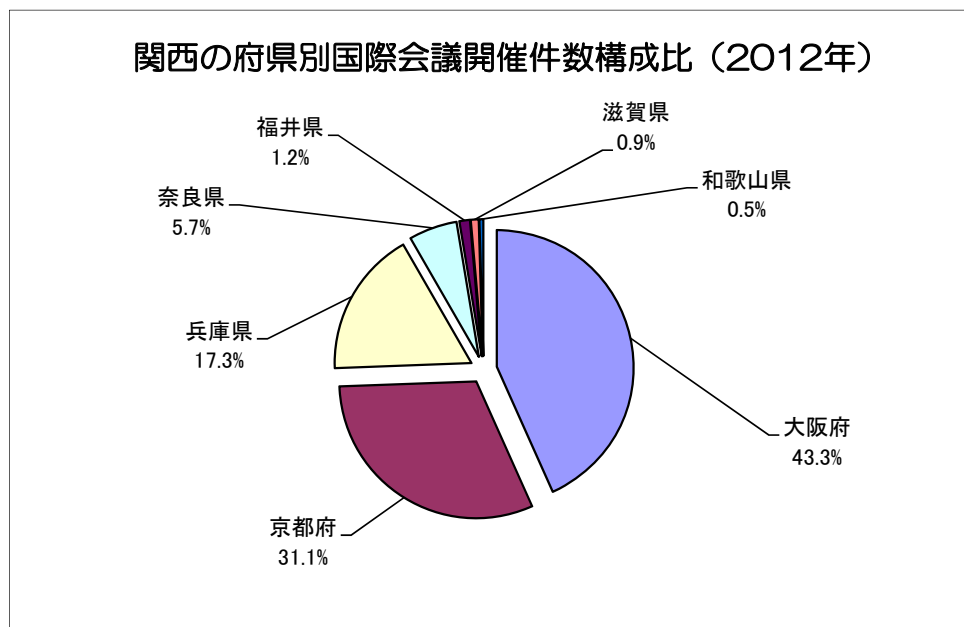
	開催件数	構成比
大阪府	281	43.3%
京都府	202	31.1%
兵庫県	112	17.3%
奈良県	37	5.7%
福井県	8	1.2%
滋賀県	6	0.9%
和歌山県	3	0.5%
合計	649	100.0%

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)一つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、各都市で1件ずつ計上している

但し、同一府県内で複数の都市にまたがって開催された会議は1件の会議にまとめて計上している

○ 図表4-11-② 関西の府県別国際会議開催件数構成比(2012年)



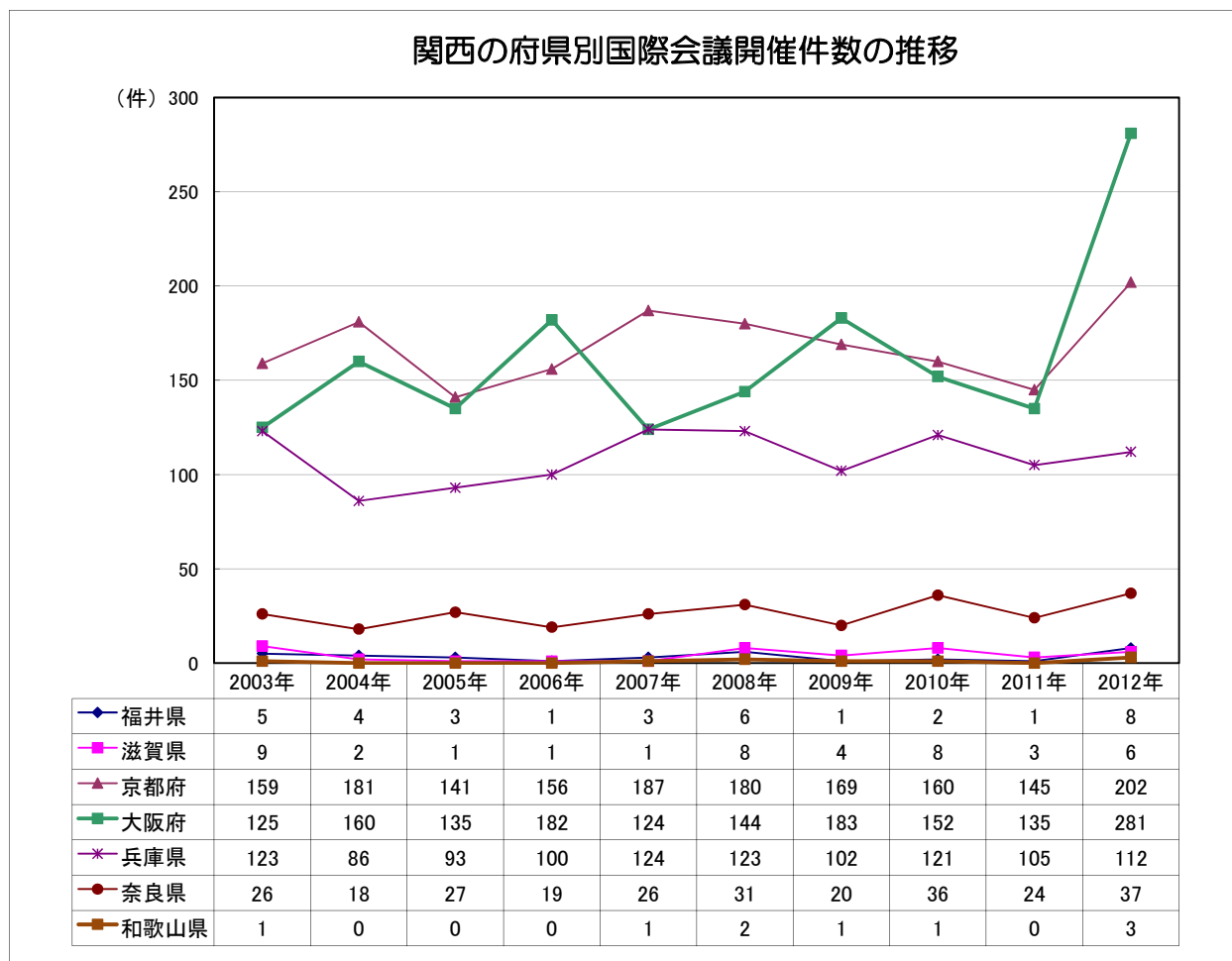
出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

② 関西の府県別国際会議開催件数の推移

関西の府県別国際会議開催件数の推移をみると、大阪府、京都府、兵庫県の3府県での開催が集中する状況が続いている。

2012年は、関西の全ての府県において開催件数が前年より増加しており、特に大阪府が対前年比146件増(281件)と大きく増加した。

○ 図表4-12 関西の府県別国際会議開催件数の推移



出所：日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(3) 関西の都市別国際会議開催状況

① 関西の都市別国際会議開催状況

2012年に関西で開催された国際会議開催件数を都市別に見ると、第1位京都市、第2位大阪市、第3位千里地区となっており、これらの3都市だけで全体の約7割のシェアを占めている。

○ 図表4-13-① 関西の都市別国際会議開催件数(2012年)

(単位:件)

順位	都市名	府県名	件数	構成比	順位	都市名	府県名	件数	構成比
1	京都市	京都府	196	30.2%	15	泉佐野市	大阪府	2	0.3%
2	大阪市	大阪府	140	21.5%	15	四條畷市	大阪府	2	0.3%
3	千里地区(注)	大阪府	113	17.4%	15	寝屋川市	大阪府	2	0.3%
4	神戸市	兵庫県	92	14.2%	15	姫路市	兵庫県	2	0.3%
5	奈良市	奈良県	30	4.6%	15	橿原市	奈良県	2	0.3%
6	淡路市	兵庫県	18	2.8%	15	和歌山市	和歌山県	2	0.3%
7	堺市	大阪府	11	1.7%	22	小浜市	福井県	1	0.2%
8	東大阪市	大阪府	7	1.1%	22	鯖江市	福井県	1	0.2%
9	大津市	滋賀県	5	0.8%	22	草津市	滋賀県	1	0.2%
10	福井市	福井県	(*)	0.6%	22	木津川市	京都府	1	0.2%
10	生駒市	奈良県	4	0.6%	22	藤井寺市	大阪府	1	0.2%
12	敦賀市	福井県	(*)	0.5%	22	天理市	奈良県	1	0.2%
12	宇治市	京都府	3	0.5%	22	みなべ町	和歌山県	1	0.2%
12	池田市	大阪府	3	0.5%					
15	京田辺市	京都府	2	0.3%		関西計		650	100.0%

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

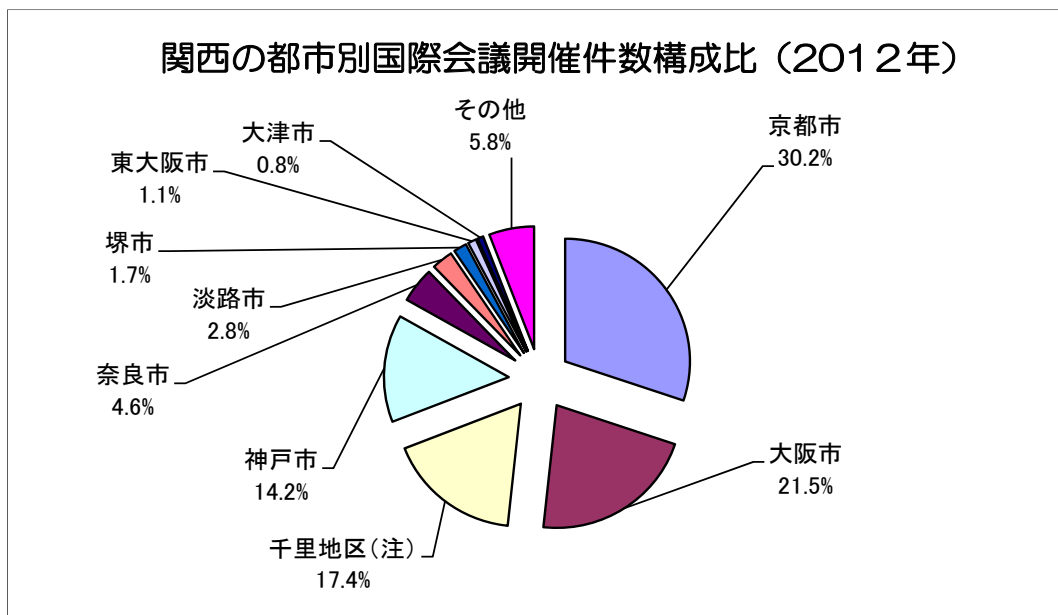
(注)「千里地区」は大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

(注)一つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、各都市で1件ずつ計上している

但し、同一府県内で複数の都市にまたがって開催された会議は1件の会議にまとめて計上している

(注)(*)は同一府県内の複数都市で開催された国際会議を含んで計上している

○ 図表4-13-② 関西の都市別国際会議開催件数構成比(2012年)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)「千里地区」は大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

② 関西の都市別国際会議開催件数の推移

関西の都市別国際会議開催件数の多い上位3都市の動きを見ると、第1位の京都市が第2位以下に大きな差をつけている。毎年、第2位は大阪市と神戸市が争う形になっているが、2012年は大阪市が第2位、第3位は神戸市を抜いて千里地区となり、神戸市は第4位となった。

○ 図表4-14-① 関西の都市別国際会議開催件数の推移

(単位:件)

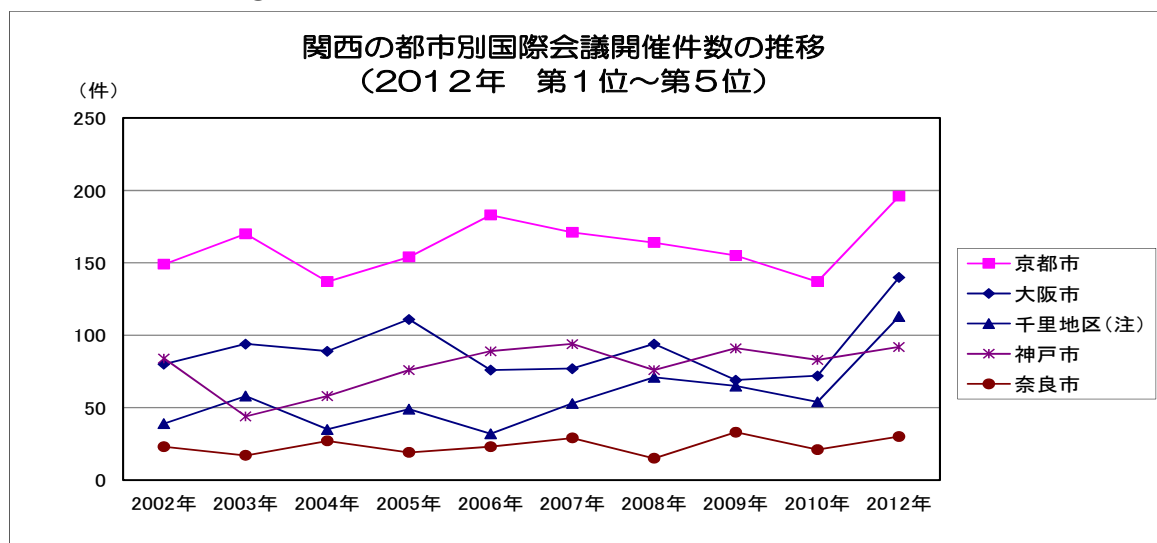
順位	都市名	府県名	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2012年
1	京都市	京都府	149	170	137	154	183	171	164	(*) 155	(*) 137	196
2	大阪市	大阪府	80	94	89	111	76	77	94	69	72	140
3	千里地区(注)	大阪府	39	58	35	49	32	53	71	65	54	113
4	神戸市	兵庫県	84	44	58	76	89	94	76	91	83	92
5	奈良市	奈良県	23	17	27	19	23	29	15	33	21	30
6	淡路市	兵庫県	35	39	34	21	35	26	25	26	19	18
7	堺市	大阪府	4	2	7	10	12	7	7	9	3	11
8	東大阪市	大阪府	0	1	1	2	0	3	2	5	2	7
9	大津市	滋賀県	6	0	1	1	1	7	2	5	2	5
10	福井市	福井県	4	3	2	0	2	2	1	1	0	(*) 4
10	生駒市	奈良県	2	1	0	0	2	1	4	2	0	4
12	敦賀市	福井県	1	0	0	0	1	3	0	1	1	(*) 3
12	宇治市	京都府	3	2	1	0	0	4	2	3	(*) 7	3
12	池田市	大阪府	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
15	京田辺市	京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
15	泉佐野市	大阪府	1	1	0	2	1	2	7	1	2	2
15	四條畷市	大阪府	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
15	寝屋川市	大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
15	姫路市	兵庫県	0	2	1	1	0	2	1	3	3	2
15	橿原市	奈良県	0	0	0	0	1	0	0	(*) 1	1	2
15	和歌山市	和歌山県	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2
22	小浜市	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22	鯖江市	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22	草津市	滋賀県	2	2	0	0	0	0	2	1	1	1
22	木津川市	京都府	1	1	0	2	1	0	1	0	0	1
22	藤井寺市	大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22	天理市	奈良県	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
22	みなべ町	和歌山県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他		14	14	6	10	6	11	4	(*) 163	147	0
	関西計		448	451	400	459	466	494	480	480	414	650

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

(注)(*)は同一府県内の複数都市で開催された国際会議を含んで計上している

○ 図表4-14-② 関西の都市別国際会議開催件数の推移(2012年 第1位~第5位)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注)「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

(4) 関西の会場別国際会議開催状況

2012年に関西で開催された国際会議を会場別に見ると、件数ベースでは、第1位大阪大学、第2位京都大学、第3位国立京都国際会館となっている。

参加者数でみると、第1位国立京都国際会館、第2位神戸ポートピアホテル、次いで大阪国際会議場の順となっている。

○ 図表4-15 関西の会場別開催状況(上位10会場)(2012年)

(単位: 件、人)

順位	会場	都市	件数	参加者数
1	大阪大学	大阪	82	15,150
2	京都大学	京都	65	9,725
3	国立京都国際会館	京都	47	84,755
4	大阪国際会議場	大阪	35	68,962
4	神戸ポートピアホテル	神戸	33	80,339
6	神戸国際会議場	神戸	29	65,473
7	淡路夢舞台国際会議場	淡路	18	2,754
8	神戸大学	神戸	16	2,337
9	奈良県新公会堂	奈良	15	4,822
9	国立民族学博物館	大阪	14	1,179

出所: 日本政府観光局(JNTO)「2012年国際会議統計」より作成

(注1) 複数会場を利用して開かれた同一会議は、各会場に1件として計上している

(注2) 大学等の付属施設は大学での開催件数に含めている

(注3) 「会議以外の要素が多く含まれており、かつ会議部分のみの参加者数が不明である国際会議」への参加者数は計上していない